

令和元年度元気なコミュニティ特選団体の概要

番号	市町村名	団体名	活動団体の概要
1	盛岡市	さかいだちょう ちょうないかい 境田町町内会	<ul style="list-style-type: none"> 「ふれあいサロン」「ふれあい料理教室」「三世代交流」「ふれあい夏祭り」などのコミュニティ活動や、安全で快適な暮らしができる町にするための防犯パトロール、地域安全マップの作成、防災に対する勉強会等を町内の公民館を中心に実施している。 多様な主体が委員となり、住民が多く参加できるよう工夫しながら活動を行っている。 限られた予算を有効に活用するため、長年実施してきた行事であっても、参加率が低ければ行事を見直している。
2	盛岡市	かみはば ちょうないかい 上羽場町町内会	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に、上羽場町町内会が主体となり町内会事業計画を策定し、地域住民が主体となり、年6回のカラオケ研究会や、年2回の麻雀大会、夏祭り、三世代交流収穫祭を開催している。 若手農業家が、町内会役員として計画立案・実行を担っている。 三世代交流収穫祭の参加者が年々増加している。
3	盛岡市	とくていひえいり かつどうほうじん 特定非営利活動法人 インクルいわて	<ul style="list-style-type: none"> こども食堂、制服・学用品等のリサイクル、親子セレモニースーツの貸し出し、子どもの居場所ネットワークいわて事務局を運営している。 世代間交流と共生型のこども食堂によって、相互理解の促進を図り、地域愛を育んでいる。 従来のコミュニティ団体の枠を超えた活動を行っている。
4	滝沢市	みなみすごじちかい 南巢子自治会	<ul style="list-style-type: none"> 「明るく、住み良い地域づくり」という基本方針のもと、事業構想「五つのみよう」に住民一体となって取り組んでいる。 大規模災害に備え、自治会に近接する施設を一時避難場所として利用できるよう自ら交渉し、滝沢市と「災害時支援協力協定書」を締結する橋渡しを行った。 自治会内で「除雪隊」を結成し、中学生と協働で高齢者等の冬期間の雪かきを支援している。
5	花巻市	にいぼりなく こうみんかん 新堀7区公民館	<ul style="list-style-type: none"> 自主組織が各々独自活動を行い、公民館が調整機能を果たすことにより総合的で継続的なコミュニティづくりを行っている。 若手や女性の代表で新堀7区公民館建設委員会を発足させ、高齢化社会に対応できるコミュニティづくりに地域一丸となって取り組んでいる。
6	奥州市	わかやなぎだいじゅくじちかい 若柳第10区自治会	<ul style="list-style-type: none"> 地域に伝わる伝統的な風物詩や地域コミュニティを守りつつ、後継者育成等に積極的に取り組んでいる。 地域内の農道や水路の維持・保全を、法人が主体となり作業を行っている。 若い世代も農業に関心を持てるような活動を取り入れている。
7	奥州市	ちーむやなぎ かつこかり （仮）	<ul style="list-style-type: none"> 地域の担い手として期待される若い世代が、地域活動等に積極的に参画するために、若者有志による「ちーむやなぎ（仮）」を結成し、若者の視点で振興会に参画している。 振興会事業に参加の少なかった若い世代が積極的に参加するようになり、地域の活性化につながっている。
8	大槌町	にんぎょうげきだん あんどむすめ 人形劇団 あんど娘	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちへの情操教育、地域高齢者の生きがい創出、町外へ転出した被災者との交流、安渡地区及び町内の文化活動活性化を目的とした活動を続けている。 公演時の子どもたちや地域住民との交流を始め、定期練習において、震災後のやりがい・生きがい創出や心の復興に寄与してきた。高台移転等の影響で安渡地区を離れたメンバーにとっては、生まれ育った地域と繋がり続けるきっかけとなっている。
9	大槌町	こどもしよくどう おおつち子ども食堂 ゆうしのかい 有志の会	<ul style="list-style-type: none"> 月に一度、土曜日のお昼に子ども食堂を開催。子どもから高齢者まで毎回30～40名が参加しており、誰でも立ち寄り、子どもが1人でも利用できる“居場所”としている。 町内のサポーターたちが、食事を通じた地域住民の交流や見守り、地域の居場所づくりに取り組んでいる。 地域の意識醸成・見守り人材の育成にも寄与している。
10	久慈市	やまねみらいづくりかい やまね未来づくり会	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月に「山根町地域計画」を策定し、山根の将来像を地域住民で共有するとともに、計画に記載された4つの基本方針（くらし、文化、なりわい、つどい）に沿った活動に取り組んでいる。 人口減少及び少子高齢化により地域力の衰退が進む中、住民自らが山根の将来像を一緒に考え、共有し、実現に向けた主体的な取り組みを実践している。